

 人口	 男性	 女性	 世帯数
152,808人 (+175人)	79,857人 (-3人)	72,951人 (+178人)	68,298 世帯 (+580世帯)

情報コーナー

掲載しているイベント・事業などについて

掲載しているイベント・事業などは新型コロナウイルス感染症対策を行った上で開催する予定ですが、感染拡大状況により、中止・変更する場合があります。

新型コロナウイルス感染症に関する最新の情報は、市HPをご覧ください。

関連情報
一覧



▲市HP

時 期間・日時	対 対象・資格	申 申込み・応募
場 場所・会場	定 定員・募集数	他 その他
内 内容	費 費用・受講料	問 問合せ
調 講師・指導	持 持物・服装	ID HP検索用ID

※**対**どなたでも、**定**持になし、**費**無料の場合は省略。
※あいち電子申請・届出システムは、一部のスマートフォンなどで利用できない場合があります。

カンガルールーム



マークの記事はカンガルールームで6カ月以上の未就学児をお預かりします。申込み希望者は市HPをご確認の上、申し込んでください。



募集

まなび応援情報誌「アイリスおけいこ」サークルBOOKの掲載

内 サークルや稽古団体のメンバー募集、活動案内を載せた情報誌（10月発行）への掲載情報を募集します。

対 総合文化センターを活動拠点としているグループ・団体・教室

申 9月18日（日）（必着）までに、申込用紙（総合文化センターで配布・センターHPでダウンロード可）を郵送、FAX（manabi@kariyahall.info.）または直接、総合文化センター（〒448-0858 若松町2-104）へ。

問 総合文化センター（☎21・7430）

令和5年度下半期分 美術館展示室使用者

内 令和5年11月28日（火）～令和6年3月31日（日）の展示室使用の受付

※申込多数の場合は10月16日（日）に抽選

申 9月1日（木）から30日（金）までに直接、美術館（毎月曜・20日（火）、ただし、19日（月）は開館）へ。
美術館（☎23・1636）

第7回森三郎童話賞全国募集

◆募集要項

テーマ 「愛と夢と優しさ」

※小学生が読める程度の日本語で未発表の創作童話

原稿 1編につき400字詰め原稿用紙縦書き25～30枚
※パソコンなどで作成する場合は、縦書き1枚につき20字×20行

入賞発表 令和5年9月下旬に入賞者のみに連絡、市民だより・市HPに掲載

※入賞作品の著作権は市に帰属します。

賞・賞金 ▶最優秀賞1編…50万円・賞状・図書

▶優秀賞1編…10万円・賞状・図書

▶佳作4編…3万円・賞状・図書

※最優秀作品は単行本として刊行し、全国の公共図書館へ寄贈します。

審査員 藤真知子（児童文学作家）、宮川健郎（武蔵野大学名誉教授）、山本悦子（児童文学作家）

申 11月1日（火）から12月31日（出）（消印有効）までに、郵便番号・住所、氏名（ふりがな）、年齢、性別、職業、電話番号、題名、募集情報入手先（①チラシ・ポスター、②雑誌、③市HP、④③以外のインターネットページ、⑤その他）を記入した応募票（市HPからダウンロード可）を作品につけて、一箇所をダブルクリップで留めた上で、郵送または直接、中央図書館森三郎童話賞係（〒448-0852 住吉町4-1、毎月曜・祝日の翌日・年末年始）へ。

※必要事項が記入してあれば、専用の応募票でなくても応募可

問 中央図書館（☎25-6000）

ID 1010843（9月1日から公開予定）

◆森三郎の世界



▲「赤い鳥」時代の森三郎

森三郎は新美南吉・平塚武二と並んで、雑誌「赤い鳥」出身の作家です。昭和の初期、刈谷市で幼少時代を過ごした森三郎の周りには自然が満ち溢れていました。その自然は、時には優しく、時には厳しくもありましたが、家に帰れば母や兄弟がいつも温かく迎えてくれました。そうした環境に包まれ、感受性豊かに育った彼が7歳の時に会った雑誌「赤い鳥」は、たちまち彼をとりこにし、童話の世界へと引き込んでいきました。彼の作品には、その頃の体験が今に息づいています。

いつまでも子どもの世界は愛と夢と優しさでいっぱいにしておきたいという彼の願いは、まだ幼き日の喜びや感動、不安や悲哀の思い出とともに描かれた童話の世界を通じて、読む者に命のあるものへの限りない優しさを語りかけています。